

食物科 科集会

■日 時：令和元年5月7日(火) 6限

■目 的：(1) 食物科で学ぶ意義を明確にする。

(2) 同じ学科で学ぶ1～3年生の生徒が学年を越えて交流し、学科内のつながりを深める。

＜校長先生から＞

「食べる」ことは、生きていく上で一番大切なこと、楽しいこと、うれしいことです。食は人の心を豊かにします。食についてプロから学び、レストラン実習で多くの方に食べていただくというのは、他の高校では味わえない貴重な学びです。「大垣桜高校で学ぶ」ことに自覚と責任をもち、調理の技と心、知識など多くのことを学んでください。そして、学んだことを自分の将来に生かし、地域、全国、そして世界で活躍してください。



＜高橋科長から＞

3年生から1年生まで、みんな自分のやるべきことを頑張っています。最近会った卒業生は、「フランスの料理店でナンバー2のポジションになった。」「(パン屋で)すべての種類を任されるようになった。」と話し、またケーキ店では、自分が作ったケーキを自信をもってすすめてくれました。たくさんの卒業生が輝いています。皆も将来輝けるように、自分を磨いてください。



＜開会の様子 司会進行3年生＞



× 悪い例



○ 良い例

＜調理実習着の正しい着装の仕方＞

3年生から調理実習着の着方や正しく着こなすことの大切さを学びました。また、各学年の調理班ごとに分かれ、同じ調理台を使用する縦割り調理班で交流しました。自己紹介の後、好きな料理のことや調理室を互いに安全・清潔・快適に使うためのルールやマナーを話し合いました。



＜縦割りグループ自己紹介＞

伝言クイズゲーム



縦割りグループのコミュニケーションを深めるために伝言ゲームを行いました。1・2年生にはやや難しく、3年生は分かって当然という内容の問題でした。何度も聞き返し、正確に伝えようとする姿から学科内のつながりを深めることができた集会でした。